

# 2024年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：グローバルスタディアドバンスト

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な社会的課題とそれに取り組む団体・組織に関する知識を身に付ける</li> <li>・国際的な社会問題を考察できるように調査研究方法と語学力を高める</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題に対する自らの関心に気づく・問題を自分事にする</li> <li>・多角的に国際的な社会問題を考察できるよう、批判的思考能力を高める</li> <li>・学びの成果を社会に向けて発表する</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何」を「なぜ」探究したいのかを追求し、それをすることがどのように社会に貢献するのかを考える</li> <li>・世界にある多様な価値観を尊重する</li> <li>・直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶことができる</li> <li>・先人の歩み、先行研究から学ぶ、謙虚な姿勢を養い、知の集積を目指す</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①国際的な社会課題やそれに取り組む組織について、自分の言葉で英語で説明することができる</li> <li>②調査・研究を行うためのリサーチメソッドを理解し、自分でそれらを運用することができる</li> <li>③海外の高校生と英語を用いて国際的な社会課題について問題の本質を理解し、解決策を提案できる</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①社会的課題について多角的・批判的な視点から捉える事を通して、自分の価値観を検証することができる</li> <li>②国際的な社会課題の解決方法について仮説を立て、調査を行い、検証することができる</li> <li>③当該課題に向き合う中で、自分の取り組みや探究の成果について英語で他者に発表することができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①世界の中に多様な価値観があることを受容し、自分がそれらにどう関わって生きていくのかを方向づけることができる</li> <li>②世界の中の日本の位置づけを意識しながら、これまでに解決が困難だと考えられてきた国際的な社会課題について自らの研究により貢献する</li> </ol>	

授業日	4/16(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ Research Proposal を口頭で発表する（指定された形式、内容、時間を順守し評価軸に沿った発表をする）。 ・ Research Proposal の発表に対し、質疑応答をする（批判的・建設的コメントで議論を活性化させる）。		
時間 授業内容	5 限	3 年生の流れ（予定表をもとに） Research Proposal 口頭発表 1 グループ 15 分、その後質疑応答（3 グループ）	
	6 限	残りの 2 グループの発表 来週の Online 国際交流に向けての連絡事項、課題の説明	
評価方法	口頭発表、PPS スライド、A4 での報告書、学びの記録		
宿題指示	Online 国際交流アンケート解答、プレゼンテーション資料作成、アップロード		

授業日	4/23(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ ミャンマーの生徒に、自分たちの Research の狙い、プランを英語で伝え、簡単なディスカッションを完遂する ・ ミャンマー生のプレゼンテーションを聞き、先方の文化、研究内容について理解をする。		
時間 授業内容	5 限	先週の Research Proposal のフィードバックと今後の課題説明	
	6 限	Online 国際交流のための準備	
	連続	WTW 社のアシストによるブレインストーミング 個人とグループとしての目標セッション チームプレゼンテーション「関心のある社会問題について」 ディスカッション「より良いアクションプランを目指して」 振り返り 来週の流れ説明	
評価方法	WTW による評価、発表資料、プレゼンテーション		
宿題指示	Chapter1（はじめに）に特化したプレゼンテーション（本日返却した Research Proposal のフィードバックに応える形で）		

授業日	5/7(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ Chapter1（第 1 章・はじめに）に関する口頭発表をする（指定された形式、内容、時間を順守し、前回のフィードバックに答える形の発表をする）。 ・ Chapter1（第 1 章・はじめに）に関する口頭発表に対し、質疑応答をする（批判的・建設的コメントで議論を活性化させる）。		
時間 授業内容	5 限	各班 10 分の発表（PPS）	
	6 限	その後 5 分間の質疑応答	

	連続	(オーディエンスは学びの記録を取る)
評価方法	発表資料、発表内容、学びの記録	
宿題指示	次回インドネシアとのオンライン国際交流の準備 (A3 ワークシート、プレゼンスライド)	

授業日	5/14(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ・ 本時の具体的な目標 ・ インドネシアの生徒に、自分達の Research の狙い、プランを英語で伝え、簡単なディスカッションを完遂する ・ インドネシア生のプレゼンテーションを聞き、先方の文化、研究内容について理解し、ディスカッションを完遂する。		
時間 授業内容	5 限 6 限 連続	先週のフィードバックと今後の課題説明 Online 国際交流のための準備 WTW 社のアシストによるブレインストーミング 個人とグループとしての目標セッション チームプレゼンテーション「関心のある社会問題について」 ディスカッション「より良いアクションプランを目指して」 振り返り 来週の流れ説明	
評価方法	WTW による評価、発表資料、プレゼンテーション		
宿題指示	Chapter2 (Literature Review・先行文献) に特化したプレゼンテーション (本日返却した Chapter 1 に関するフィードバック、並びに前回の Research Proposal のフィードバックに応える形で) の準備		

授業日	5/28(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 大雨警報のため休校		
時間 授業内容			
評価方法			
宿題指示			



学習目標	本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Chapter3 (Method/ Research Design)のプログレスレポート</li> <li>・ 研究のデザイン・方法・夏期休暇中のアクションリサーチの計画を発表。</li> <li>・ 上記についての活発な質疑応答を通じ、リサーチデザインの問題点を洗い出す。本時の具体的な目標</li> </ul>	
時間 授業内容	5 限	Chapter3 に書かれるべき内容の確認。  Chapter3 に関する 20 分の発表（3 班、その後 4 班） 15 分間の生徒間質疑応答 教員からのフィードバック
	6 限	Chapter3 に関する 20 分の発表（5 班） 15 分間の生徒感質疑応答 教員からのフィードバック
評価方法	Chapter3 発表資料（PPS）、Chapter3 の発表、学びの記録	
宿題指示	Chapter3 の発表後のフィードバックをもとに質問紙のブラッシュアップ。	

授業日	6/25(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期休暇中のフィールドワーク計画</li> <li>・ 夏期休暇中のリサーチ実施計画</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	1 学期に行った、研究論文 1 章、2 章、3 章に基づき、夏に行うリサーチの準備計画を行う。	
	6 限	具体的なリサーチタイムラインに基づき、アンケート調査用の質問紙のブラッシュアップを行う。	
評価方法	Independent Study のため、評価は行わない。		
宿題指示	夏期休暇中の具体的なリサーチ		

授業日	9/10(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期休暇中のフィールドワーク結果プレゼンテーションを適切に行う</li> <li>・ 探究リサーチ Findings セクションプレゼンテーションを適切に行う</li> <li>・ 次週以降のオンライン国際交流に関する計画・報告を簡潔にまとめ、グループ内で共有する。</li> <li>・ (教育アスピレーション班は訪問インタビュー)</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	これまでの探究活動の振り返り 夏期休暇中の活動に関する報告として各班 10 分程度のプレゼンテーション（2 グループ）	
	6 限	同プレゼンテーション（2 グループ） 2 週間後から始まるオンライン国際交流協働プロジェクトの流れを確認。	
評価方法	PPP プレゼンテーション発表資料、プレゼンテーション、学びの記録		
宿題指示	自習に向けたワークシート完成		

授業日	9/17(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 10 回
-----	---------	----------	---------------

本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】	
学習目標	本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏期休暇中のフィールドワーク結果プレゼンテーションを適切に行う(教育アスピレーション班)</li> <li>・ 探究リサーチ Findings セクションプレゼンテーションを適切に行う (教育アスピレーション班)</li> <li>・ 次週以降のオンライン国際交流に関する計画・報告を完成させる。</li> </ul>	
時間	5 限	夏期休暇中の活動に関する報告として各班 10 分程度のプレゼンテーション (1 グループ)
授業内容		来週以降のフィリピンとの共同プロジェクトについての流れ、目的説明
	6 限	グループ内で、共同プロジェクト案の企画、計画をワークシートを用い完成させる。
評価方法	PPS 発表資料、プレゼンテーション、学びの記録、ワークシート	
宿題指示	次回オンライン国際交流時に使用する PPS の提出。	

授業日	9/24(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 10 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
学習目標	本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Online 国際交流を行い、フィリピンの生徒に、自分たちの関心のある社会問題について 5 分程度でプレゼンテーションをする。(テーマを選んだ理由、問題の現状と原因、アクションプラン、相手国に聞きたいこと)</li> <li>・ フィリピンの生徒たちと共同プロジェクト案を考える際のブレインストーミングを行い、アイデアを出す。</li> </ul>		
時間	5 限	自己紹介・アイスブレイク with Philippines students	
授業内容		プレゼンテーション「関心のある社会問題について」	
	6 限	ディスカッション「共同プロジェクト案を考えよう」	
		振り返り	
評価方法	事前準備スライド、プレゼンテーション		
宿題指示	次回に使用するワークシートの準備		

授業日	10/1(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 10 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		
学習目標	本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィリピンの生徒へ共同プロジェクト案を提案する。</li> <li>・ フィリピンの生徒と共同プロジェクトを決定する。</li> <li>・ 共同プロジェクトのタイムスケジュールを決める。</li> </ul>		
時間	5 限	アイスブレイク with Philippines students.	
授業内容		共同プロジェクトのアイデア共有後、アイデアの提案。	
	6 限	共同プロジェクトの決定。具体的なタイムスケジュールの決定	
		振り返り	
評価方法	ディスカッション時の貢献度		
宿題指示	次回に使用するワークシートの準備、中間アンケート		

授業日	10/8(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 10 回
本時	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】		

学習目標	本時の具体的な目標 ・ 探究論文 第 5 章 考察 セクションの概要をまとめる ・ フィリピンとの共同プロジェクトの中間発表用資料を作成する	
時間 授業内容	5 限	これまで行なってきた論文作成第 1 章—第 4 章をもとに、第 5 章の枠組みを考察。 第 4 章で書いた結果を第 2 章の先行研究、リサーチクエスチョンをもとに考察する。
	6 限	再来週のフィリピンとの共同プロジェクトに発表する内容をまとめる。 それぞれのグループが準備をしている探究発表に向けてのタイムスケジュールをまとめる。
評価方法	基本的にプログレスレポートの形に基づいた、自学形式のため、本時の活動に評価はない。	
宿題指示	第 5 章考察の 7 割型の完成、並びに、翌々週のフィリピンとの共同プロジェクト時に使用する PPS の完成。	

授業日	10/22(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ 日本サイドの共同プロジェクトの進展を英語で報告する。 ・ フィリピンサイドの共同プロジェクトの報告を英語で理解する。		
時間 授業内容	5 限	※予定をしていた Online 国際交流がフィリピンの大規模な停電のため、中止となった。 そのため、2 週間後に予定される最終発表の内容について、大きな枠組みを考察し、来週以降の Online 国際交流のためにできることを考えた。	
	6 限	第 6 章 結論の章立てと、内容の理解を深めた。その中でどのような内容を書くのかについてグループで意見をまとめ、キーワードを集めた。 外部で探究の成果を発表する 3 グループは、それぞれの大会へのエントリーシートを完成させるため、グループ内で内容をまとめた。	
評価方法	予定されていた Online 国際交流ができなかったため、本時の活動に評価はない。		
宿題指示	外部で発表するグループへの課題提出とやりとりの日程をスケジュールし、指示を出した。また、来週の Online 国際交流での中間発表用資料のブラッシュアップ。		

授業日	10/29(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 ・ 日本サイドの共同プロジェクトの進展を英語で理解する。 ・ これまでの話し合いの改善点について議論をする。		
時間 授業内容	5 限	アクションプランのアップデートに向けた会議 初めにアシスタントの大学生とこれまでの展開、今後の進展等についてブレインストーミングを行う。 その後、フィリピン生とブレイクルームに分かれ、プロジェクトの進展具合について話し合う。お互いの課題の出し合いをして改善点について協議する。	
	6 限	成果物をどのようにするのか、来週までにどの案をどの程度まで進めるのかについて協議をする。 来週以降の予定と学習の計画を提示。それぞれの班によって、目標とする活動が異なるため、それぞれの班に応じた活動の指示	

評価方法	WTW による協働作業、活動量等に基づいた評価
宿題指示	外部で発表するグループへの課題提出とやりとりの日程をスケジュールし、指示を出した。また、来週の Online 国際交流での結果発表のための準備

授業日	11/12(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同プロジェクト最終発表用スライドを作成する。</li> <li>・発表の役割分担を確定する。</li> <li>・発表内容を確定する。</li> <li>・共同調査の結果を共有し、その活かし方を協議する。</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	アクションプランの発表方法の確認（資料・手順・役割） Google Drive 内で共有	
	6 限	来週の発表内容の確認 論文作成状況確認 全国高校生フォーラム参加者、探究の集い参加者の事前課題確認 今後の流れ説明	
評価方法	WTW による協働作業、活動量等に基づいた評価。		
宿題指示	来週の発表資料作成。フィリピン生徒とのオンライン打ち合わせ。学外発表者は発表資料の第 1 校完成。		

授業日	11/19(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン生徒の共同プロジェクトの最終発表を成功させる。</li> <li>・参加者からの質問に対して適切に応答をする。</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	Zoom ブレイアウトルームにて最終確認、簡単なリハーサル	
	6 限	攪拌 5-7 分程度の発表。その後質疑	
評価方法	WTW 社による資料・プレゼン評価、担当者による資料・プレゼン評価、		
宿題指示	特になし		

授業日	11/26(火)	2 学期授業回数	10 回目 / 全 10 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 本時の具体的な目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りアンケートを通して、自身の成長を認識する。</li> <li>・最終論文の作成へ向けてグループで課題、スケジュールを確認する。</li> </ul>		
時間 授業内容	5 限	Forms を使用しての Online 国際交流振り返りアンケート 国際交流プロジェクトを通じての成長を振り返る。	
	6 限	2 年間、3 年間の振り返り。慰労会。	
評価方法	最終論文		
宿題指示	最終論文の提出		